

～目次～

【1】TKK活動

【2】加盟団体の活動

【3】行政、他団体の活動

【4】新コーナー「行ってきました、聞いてきました！」

— 12 医療圏活動紹介シリーズ ⑦ 北多摩西部医療圏 独立行政法人国立病院機構村山医療センター

— 各記事の前の ●は活動報告、○は今後の予定 表題の< >はシリーズ開催です —

【1】TKK活動

* *

<2019(令和元)年度 TKK 理事会・総会> 6/2(日) 調布市市民プラザあくろす 3階 ホール2

理事会及び総会を開催し平成 30 年度実施事業・決算報告、令和元年度事業予定・予算他を審議。
全ての議案が承認されました。

<2019 年度 高次脳機能障害 実践的アプローチ講習会 >

●第 1 回 6/23(日)10:45～17:30 JA 共催ビル

①「高次脳機能障害とその支援に向けた取り組み」

深津 玲子氏(国立障害者リハビリテーションセンター／病院第三診療部長／高次脳機能障害情報・支援センター長／神経内科医) ②「高次脳機能障害のある方の支援に生かす SST」 舩松 克代 氏(東海大学/健康科学部/心理士/SST普及協会認定講師) ③「ダイバーシティ&インテグレーション(障害のある方とともに働く)」 鈴木 康之 氏(トッパン・フォームズ(株)／総務本部／人事課／日野分室) ④「脳損傷者の健康管理」 一杉 正仁 氏(滋賀医科大学／社会医学講座(法医学)／教授／医師)

==== 今回も九州、西日本の各地、また北陸、東北からの参加者が熱心に受講された。講師・講義内容は、国リハの高次脳機能障害情報・支援センター長の深津玲子氏は「高次脳機能障害とその支援に向けた取組み」、東海大学健康科学部非常勤講師の舩松 克代 氏は「高次脳機能障害のその支援に活かす SST」、トッパン・フォームズ株式会社の鈴木康之氏は、「ダイバシティ&インテグレーション」と題して障害者雇用の実践を、滋賀医科大学社会医学講座法医学部門教授の一杉正仁氏は、高次脳機能障害に限らず私たちもドキとする「脳損傷者の健康管理」のお話だった。各氏による有意義な講義に対し、アンケートの結果、受講生は多くのヒントをそれぞれ持ち帰られたようであった。

====TKK 理事 太田三枝子

○第 2 回 9/29(日) 10:45～17:30 JA 共催ビル

* 会場が従来の慈恵大学から千代田区平河町の JA 共催ビルに変更になります

JA 共催ビル:千代田区平河町 2-7-9) 東京メトロ有楽町線・半蔵門線・南北線「永田町駅」4 番出口から徒歩 2 分
・受講料 お1人:5000円(講習会資料代など) ・申し込み受付は、8/25 から始まります。

詳しくは、次から: http://www.brain-tkk.com/index/show_information.php?boardAct=view&readNum=219

○2019 年(令和元年)度

「東京都高次脳機能障害リハビリテーション講習会」～高次脳機能障害の回復を促す～

8/31(土) 13:00～16:30(受付開始は 12:30～)

会場:国立オリンピック記念青少年総合センター カルチャー棟 1階 小ホール(渋谷区代々木神園町 3-1)

(小田急線 参宮橋駅 徒歩 7分)(京王バス 代々木 5 丁目下車 徒歩 1分)

参加費:無料

詳しくは、次から:http://www.brain-tkk.com/index/show_information.php?boardAct=view&readNum=225

<2019年度 TKK主催:医療及び家族相談会>

A 第 3 回 8/25(日) 第 5 回 11/24(日) A・・会場は、東京都心身障害者福祉センター 12 階

B 第 4 回 10/27(日) 第 6 回 2/16(日) B・・会場は、東京慈恵医科大学第三病院 2 階

◇申し込み:kurakata@brain-tkk.com 090-1734-5114 (担当:蔵方) 事務局 Tel/Fax:03-3408-3798

詳しくは、次から:http://www.brain-tkk.com/index/show_information.php?boardAct=view&readNum=220

<2019 年度 港区主催(TKK 事業受託)「高次脳機能障害 相談会」>

4 月～2020 年 3 月の毎月第 3 木曜日午後 港区立障害保健福祉センター 6階相談室

◇ 申込:港区障害者福祉課精神障害者担当 TEL:03-3578-2457

港区立障害保健福祉センター高次脳機能障害相談員(OT・ST・PSW)や、困難を乗り越え様々な体験をしてきた TKK 役員家族会「みなと高次脳」役員が相談に当たります。

詳しくは、次から: http://www.brain-tkk.com/index/show_information.php?boardAct=view&readNum=221

<2019 年度 港区主催(TKK 事業受託)「高次脳機能障害 講演会」>

10/20(日) 13:30～16:30 みなとパーク芝浦 1F リーブラホール(定員 200 名)

講演1 脳損傷による後遺症「てんかんの診断と治療」講師 東京医科歯科大学 脳神経外科 稲次基希氏

講演2 高次脳機能障害者の自立と就労に向けて「社会生活評価プログラムと就労準備支援プログラム」講師 東京都心身障害者福祉センター 地域支援課 就労支援担当

参加費:無料

◇問合せ:港区障害者福祉課 03-3578-2457 および TKK 03-3408-3798

【2】加盟団体等の活動

* *

フォーラム大田高次脳

○「高次脳機能障害と囲碁&心の唄」の集い

====木谷正道さん主宰(木谷さんは木谷實九段の三男で心の唄バンドリーダー)2017 年 2 月より大田区障がい者サポートセンターにて始まりました。大田区目黒区品川区の当事者家族を中心に視覚障害者、聴覚障害者、身体障害者、高齢者、囲碁ボランティア等たくさんの方が囲碁やコンサート、手話唄(コーラス)を楽しんでいます。また、一緒に囲碁を始められた柴本礼さん(イラストレーター、「日々コウジ中」作者)「囲碁は高次脳機能障害を救えるか」の講演に刺激され一段とやる気?が出てきています。毎月、第一日曜日、9 時 30 分～12 時 会費:200 円 次回は、8 月 4 日(日) どなたでもいらしてください。

====フォーラム大田高次脳 代表 栗城優子

ハイリハ東京

○ハイリハJOBの会 8月3日(土)11時~14時 東部区民館(江戸川区瑞江)

専門職の方の若年層の就労 家族の方の体験談

柴本礼氏 講演会

○愛媛県高次脳機能障害支援拠点機関講習会 8月3日(土)13:00~15:40 愛媛県松山市、

テクノプラザ愛媛テクノホール(松山市久米窪田町 337-1/089-960-1111)

13:05~13:15 愛媛高次脳機能障がい者を支援する会あい 会長玉置孝美氏

13:20~14:20 「高次脳機能障害の3症例とその問題点」 愛媛県立今治病院院長藤田学先生

14:30~15:40 「当事者には居場所を介護者には支えを」 日々コウジ中作者柴本礼氏

◇問い合わせ: 松山リハビリテーション病院高次脳機能障害支援室伊賀上・中平

TEL:(代)089-975-7431 FAX:(直)089-975-0603 時間:(月)~(金)8:30~17:30

みなと高次脳

1) 交流 café「コージノウ・コーナー」開催 8月22日(木) pm2:00~5:00 何時からでも参加可能 申し込み不要 港区立

障害保健福祉センター(ヒューマンぷらざ)7階・集会室(港区芝港区芝 1-8-23)

＝会員以外でも大歓迎、日頃の高次脳への疑問、不安、聞きたいこと等々お茶を飲んで話しましょう。参加費無料。＝

センターのホームページ: <https://www.city.minato.tokyo.jp/kenko/fukushi/shogaisha/madoguchi/hokenfukushi.html>

◇問い合わせ: tel/fax:03-3444-6126(留守の折はメッセージをお願いします) Mail: yykoujinou@honey.ocn.ne.jp

2) 第21回「ヒューマンぷらざまつり」参加 10/27(日) 10:00~15:00 港区立障害保健福祉センター(ヒューマンぷらざ)

＝＝＝＝港区立障害保健福祉センター全館7階まで全て使って、地元の小学生、慶應大学、障害者団体、ボランティア団体、福祉施設等々が今年もおまつり開催。これだけの規模は自慢です。私たちはバザー部門参加。「みなと高次脳」のブースには持ち寄り「新品商品」と、オリジナル「保湿液」、手作りビーズ商品の販売を予定しています(会場は上記の「交流 café コージノウ・コーナー」開催と同じ建物) ＝＝＝＝＝みなと高次脳 代表 高井玲子

高次脳機能障害者家族会 かつしか

○講演会「事例に学ぶ高次脳機能障害のある方への支援」8/25(日)13:30~15:30 ウェルピアかつしか 3階 機能訓練室

講師・進行 渡邊修 氏

杉並高次脳機能障害者家族会クローバー

1)「スポーツ吹矢」に挑戦! 8/31(土)13:30~16:30 杉並障害者福祉会館 第1・2会議室 (杉並区高井戸東4-10

-5)・高井戸駅から徒歩15分・高井戸駅から…バス荻窪駅行き「柳窪」下車徒歩2分・荻窪駅から…南口バス3・4乗り場から乗車「柳窪」下車徒歩2分 参加費:300円(お茶・お菓子代、吹き口使用料含む、当日集めます)

◇申込・問合せ・当日連絡先: 03-3247-3242 (山田) 090-9204-2521(松枝) mmmd0917@gmail.com

(山田) 締切り:8/25 定員:30名

2)9月&11月 ランチ会のお知らせ

「ランチ会 & 江戸東京博物館見学」9/21(土)11~15時頃 集合:11時 JR総武線 両国駅 西口改札を出た所

参加費:一人 1800円(ランチ代) 持ち物:障害者手帳(手帳の提示で入園料が本人と付添2名が無料になります)

締切り:9/14

◇申込み、問合せ:TEL・FAX:03-3247-3242(山田) 090-9204-2521(松枝)

Email: mmmd0917@gmail.com 参加者全員のお名前(会員、ご家族、支援者も参加可能)と連絡先をお願いします

3)「ランチ会 & 大田黒公園散策」11/16(土)11:30~15時頃 荻窪駅から徒歩2分の豊栄ステーションプラザ
407号室(荻窪5-30-17) ◇申込み:不要、参加費:なし 当日問い合わせ:03-6339-7722(山田)

いちごえ会

○「当事者主導の交流会」8/25(日)13:30~16:30 萌え木ホール 小金井市前原町 3-33-25

13:30~13:45 挨拶 上村秀一 新運営委員の紹介 ひとつこと 増村幸子代表

いちごえ会のうた「幸せなら手をたたこう」合唱 詳細は次から: <https://ichigoe.org/archives/2707>

* Fax の電話番号が変わりました。042-401-1555

【3】行政、他団体の活動

* *

●「北多摩南部医療圏 高次脳機能障害地域支援研修会」

6/30(日) 調布市総合福祉センター2階 会議室主催:東京慈恵会医科大学附属第三病院リハビリテーション科
講演(13時30分~14時30分) 脳損傷後の自動車運転実車評価について

国立障害者リハビリテーションセンター 自立支援局 肢体機能訓練課 自動車訓練室 熊倉 良雄 氏
高次脳機能障害支援 事業所・施設報告(14時40分~15時20分)

1. 株式会社 LITALICO LITALICO ワークス府中 丹羽康治 氏 2. 浩仁堂 カバーヌ 平井亮輔 氏
事例検討(15時30分~16時30分)

重度の脳損傷後に、元の職場に復職された事例について 東京慈恵会医科大学附属第三病院 渡邊 修 氏

==== 「講演 脳損傷後の自動車運転実車評価について」:一定の病気にかかると、運転再開の際、免許の可否などの運用基準が適用される。統合失調症・てんかん・再発性失神・無自覚生低血糖症・躁鬱病・重度睡眠障害・その他の精神障害・脳卒中・アルコール中毒者などは、診断書の提出が必要となる。国リハも運転訓練及び適性検査を施し、その評価結果に基づいて運転再開の可否を出している。

「高次脳機能障害支援 事業所・施設報告」: 1. 府中駅前のリタリコワークスは、障害のない社会をつくることを目指して、精神障害、発達障害の就労移行支援事業所(期限 2年間)を展開しており、就労された方々の定着支援も行っている。今後、高次脳機能障害の方々を積極的に採用したいと考えている。2. 浩仁堂 カバーヌは、NET(アマゾンなど)古書店として、発達障害、高次脳機能障害、精神障害、知的障害の方々の就労継続支援 B型事業所を営み、本が仕事のアイテムで、得意な部分を伸ばすことに重点を置いている。重度の脳損傷後に、元の職場に復職された事例は、手厚い支援があれば復職(障害者枠)でできる、良い事例でした。==== TKK 理事長 細見 みゑ

●「東京都高次脳機能障害者相談支援研修会」7/3(水) ルネこだいら中ホール

「講演:高次脳機能障害の基礎知識」13:20~15:10 講師:慈恵医科大第三病院リハビリテーション科 教授 渡邊 修氏

「ご家族と当事者の体験談」15:25~16:25 講師:三鷹市在住の福島芳美氏と福島亮介氏

==== 「講演:高次脳機能障害の基礎知識」:高次脳機能障害者相談支援を担当するようになった方々の初心者向け

講演であった。前半は、高次脳機能障害の概要と原因疾患、その主な症状。後半は、リハ前提の環境調整、東京都支援体制、リハ手順と内容、社会的行動障害への対応、最後に就労支援について、就労準備性が整うことの重要性を説かれた。

「ご家族と当事者の体験談」:まだお若く、幼いお子様がおられたのに脳出血で倒れ、高次脳機能障害と片麻痺を負われた奥様の体験談でした。翌年、第2子を授かったが、様々な後遺症障害と戦いながらの子育てと日常生活についての詳細を語られた。一見すると、なんともなく見える美しい奥様ですので、他人には分かりにくい高次脳機能障害の様々な困難さについて語られたので、相談支援の初心者の方々には良い勉強になったと思う。==== 理事長 細見 みゑ

<第25回高次脳機能障害者相談支援体制連携調整委員会(令和元年度では第1回目)>

7/24(水) 都心障センター(飯田橋セントラルプラザ 12階研修室)

細見みゑ TKK 理事長出席、小澤京子 TKK 副理事長と藏方律子 TKK 副理事長傍聴

1 開会 2 挨拶 東京都心身障害者福祉センター 粉川貴司 所長 3 議事

- (1)高次脳機能障害支援普及事業実施状況等について (2)専門的リハビリテーションの充実事業について
(3)その他(令和元年度事業計画、齋藤委員・細見委員報告等々)

==== 区市町村高次脳機能障害者支援促進事業実施状況が、令和元年現在も実施されない空白地域が存在すること、専門的リハビリテーションの充実事業実施状況は、12医療圏全域に実施されるようになったが、この中で、コーディネーターを新規に雇って活動させる部分は、各医療圏が困惑しているとのことだった。この根底には、高次脳機能障害者支援促進事業の予算が永久に続くかどうかの疑念が、区市町村や12医療圏にあるように推察された。発達障害者支援法のように、高次脳機能障害者支援法が制定されれば、予算は永久的に確保され、その予算額は、今の支援促進事業予算とは比較にならない金額になる可能性がある。高次脳機能障害者支援促進事業をしなければならないという法律があれば、区市町村や12医療圏も予算がないから出来ない、と言う言い訳は通じなくなる。==== 理事長 細見 みゑ

●「第5回 東京都総合高次脳機能障害研究会～みんなでつなぐ医療と地域 TOKYO 2019～」

7/28(日) 首都大学東京荒川キャンパス内大視聴覚室

「基礎編 高次脳機能障害のある方への支援:医療と地域の連携のコツ」渡邊修先生

[実践編]・世田谷区・葛飾区・足立区・調布市・府中市・杉並区・武蔵野市・町田市・西東京市・港区・新宿区・西多摩保健医療圏(青梅市、羽村市、福生市、瑞穂町、奥多摩町、あきる野市、檜原村、日の出町)・東京高次脳機能障害者支援ホーム(通称:HiBDy.Tokyo)

==== 「基礎編 高次脳機能障害のある方への支援:医療と地域の連携のコツ」:前半部は高次脳機能障害の概要、東京都支援体制、リハの手順と地域ケア、就労支援であった。都内では、無期限のA型事業所が少なくB型はどんどんできていて多い。就労移行支援事業所は期限が2年だが、就労できたら定着支援も行っている所が増えた。また昨年4月から共生型支援ができるようになったので、デイサービスを行っている介護事業所が共生支援を使って就労支援を行おうとすれば障害者総合支援も使える。その逆も同様であるとのこと。後半部の事例検討は、転落事故で重度障害を追われた方の、様々な制度や支援を駆使して社会復帰に至るまでの事例の紹介であった。

[実践編]:区市町村事業及びその委託事業所等、計13の事業所が実施している高次脳機能障害者への取り組み報告がなされた。他の多くの取り組み例をお互いに学ぶことにより、より良き支援の参考の場になったと思う。高次脳機能障害者支援促進事業を実施し、このように報告出来た区市町村事業及びその委託事業所に感謝します。なお、未だに空白の区市町村も当事業を受託し、報告者の中に列ねられるよう願ってやみません。==== 理事長 細見 みゑ

○TKKメルマガ vol43 に掲載した後天性脳損傷者のための認知コミュニケーション(CCCABI)日本語版 が下記よりダウンロード

ードできるようになりました。是非ご活用ください。

<https://brainandcommunication.ca/ccabi/>

====英語, フランス語はもとより, その後ドイツ語, デンマーク語, 日本語と5か国語に増えておりました。世界中の認知コミュニケーション障害(cognitive communication disorders)のある方やそのご家族, ご友人, そして私たち支援者とつながっていると思うと心強いです。====帝京平成大学 健康メ ディカル学部 言語聴覚学科 廣實真弓教授

○国交省のガイドラインが改訂され、高次脳機能障害に関する記載がなされました。

国交省の HP は下記の通りで PDF でダウンロード可能です。

http://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/barrierfree/sosei_barrierfree_mn_000001.html

http://www.ecomo.or.jp/barrierfree/guideline/guideline_top.html

====昨年7月に改正され、この4月にリバイスされたようです。

上段の HP にも記載がありますが、エコモ財団からもダウンロード可能です。

====国立障害者リハビリテーションセンター 研究所 障害工学研究部 自立支援ロボット技術等研究室 中山剛室長

○「公共交通機関利用時におけるコミュニケーション支援ボードに対する高次脳機能障害者・失語症者の意識調査

<http://www.rehab.go.jp/application/files/9615/3206/1221/3-1-1.pdf>

<http://www.rehab.go.jp/application/files/9815/3206/1233/3-2-2.pdf>

【4】取材コーナー「行ってきました、聞いてきました！」

⑦北多摩西部医療圏 独立行政法人国立病院機構村山医療センター

* *

東京都高次脳機能障害支援普及事業における各 12 医療圏で実施している活動及び事業の紹介シリーズ。

⑦北多摩西部医療圏 ((立川市・昭島市・国分寺市・国立市・東大和市・武蔵村山市)

拠点病院: 独立行政法人国立病院機構村山医療センター

事業開始: 平成 27 年度

<報告者:TKK 副理事長 藏方 律子・小澤 京子>

地域の特徴／支援施設等

北多摩西部医療圏の総人口は、64 万人。6市で成り立っている。

各市に高次脳機能障害支援施設・病院を構え支援を担っている

◇6市医療機関

立川市((独立行政法人国立病院機構災害医療センター、立川相互病院、健生会 ふれあい相互病院、国家公務員共済組合連合会 立川病院)。昭島市(昭島病院)。国分寺市(社会福祉法人浴光会 国分寺病院)。東大和市(東大和病院)。武蔵村山市(武蔵村山病院 独立行政法人国立病院機構 村山医療センター)

◇支援施設

6市には就労継続 A 型・就労継続 B 型・就労移行支援・ヒヤリングカウンセリング・立川委託相談支援・計画相談・就労支援・相談支援事業・地域活動支援センター・生活介護・障害児計画相談等の施設がある

主な活動／業績

■コーディネーターの設置

圏域連絡会にてコーディネーターの設置を検討し、圏域内の市町村との連絡による地域社会資源の掘り起こしを行っている

■症例検討会、圏域連絡会の開催

①開催 年1回

②対象者: 医療関係者・MSW・相談支援員(医療・行政・福祉)

③関係機関との圏域連絡会の開催 年2回・対象者は6市の担当職員

■専門職の研修会

①開催 年2回

②対象者: 医療関係者・MSW・相談支援員(医療・行政・福祉)

■その他の活動

ホームページ内容の充実 相談窓口の設置

これらの活動は北多摩西部医療圏における、高次脳機能障害に対する支援拠点機関として、専門的支援と市や関係機関等との地域支援ネットワークの充実を目的に国立病院機構村山医療センターが中核となって適切な支援体制を整備する

事業推進者インタビュー: 独立行政法人国立病院機構村山医療センター

リハビリテーション科医師 植村 修先生

【今までの経緯】

当院は北多摩西部保健医療圏域(武蔵村山市・立川市・昭島市・国分寺市・国立市・東大和市)における地域リハビリテーション支援センターとして平成17年8月に指定を受けました。



植村修医師

【活動の現状】

当院ではこうした地域リハビリテーション支援の理念に基づき、患者・家族やリハビリテーションに携わる関係者に対する啓蒙活動や、適切かつ効率的な連携体制構築に向けた調査ならびに研究活動、さらに地域住民の方や医療機関などからの相談事業などを主に行っております。

患者さんご自身だけでなくご家族の負担も考慮に入れた、無理のない生活設定を念頭としたリハビリを提供し、“自分に甘いも他人にも甘い”、をモットーに、診療を行っております。どんなことでもお気軽にご相談ください。

【今後の展望】

どのようにして理解してもらえるか

対処できる組織づくり

家族会の立ち上げも協力していく

園芸を通してコミュニケーションの時間を作っていきたい

以上